

景観まちづくり市民検討会のご案内

平成 29 年度のまとめ

深大寺は
観光地であり、
人の暮らしも
ある場所



おそろいの
作務衣、竹ぼうきも
景観の一部



深大寺が
綺麗なのは
掃除してくれる
人がいるから

行って
きます！

おはよう！
足元に
気をつけてね



景観アドバイザー 石川先生より

○深大寺の景観は様々な要素の組み合わせで作られています。景観は「見えるもの／こと」だけではなく、それを支える様々な「見えないもの／こと」によってもできています。「見えるもの／こと」を通して「見えないもの／こと」を想像することも大切です。

○深大寺は有名な観光地ですが、深大寺の景観はそこに住む人の日常の景観でもあります。たとえば深大寺は地元の小学校の通学路でもあり、参道を歩く子どもたちも景観の一部です。私たちも、休日に家族でお蕎麦を食べに行けば、深大寺の賑わい景観に貢献できます。こうしたことも景観への参加です。誰でも景観づくりに参加できるのです。



石川初先生
慶應義塾大学大学院教授

平成 30 年度の予定

深大寺から視野を拡げ、起伏のある地形や湧水の源である「国分寺崖線」を題材に地域特性を活かした景観づくりについて調査・検討します。

国分寺崖線は、多摩川が武蔵野台地を削り取ってできた段丘で、立川市から大田区まで連なり、貴重な自然環境が残る地域です。

調布市景観計画では「景観形成重点地区」に、東京都景観計画では「景観基本軸」に位置づけられています。

市民委員は随時
募集しています！
ご興味のある方は
都市計画課まで
ご連絡ください♪

題材 国分寺崖線



第 6 回市民検討会

日にち 平成 30 年 5 月 18 日 (金)
時間 午後 7 時から
場所 たづくり 12 階 大会議場

調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせをしていきます。

発行：調布市都市整備部 都市計画課 景観係

Tel : 042-481-7746 Fax : 042-481-6800 Email : tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

どこからどこへ・・・
見つめ続けると・・・



平成 30 年
3 月 19 日発行

ちょうふ景観だより

第 41 号

関わる人たち
〔社会性〕

子どもはこの水を飲めるのかな
ポンプを設置した人がいる

過去とのつながり
〔歴史性〕

昔から滝行に使われている
もとは湧水だったが
今はポンプで汲み出している
岩が苔むしている

取り巻く事情
〔環境〕

多門坂を流れ
水がフェードアウトしてスッ
地下水（伏流水）がある
人工物なのに自然に見える
なぜ龍が水を吐いているのか
水の流れが鋭い
流れに存在感がある
水と影によって涼しい雰囲気

2月1日に開催した第4回市民検討会では、景観アドバイザーの石川先生、慶應義塾大学の学生の皆さんをお迎えし、大学や研究室で作成した景観やものなどの魅力を伝える事例（作品）をもとに「伝えかた」を教えてくださいました。

グループワークでは、まちあるきで撮影した写真から1枚を選び、景観を構成する要素を分解して読み取り、キャッチコピーを付けることで景観の読み取りかたと伝えかたを学びました。

ここでは、グループワークの内容をもとに作成した「景観カード」をご紹介します。



写真の特徴を
ひとことで表す
「キャッチコピー」
をつけました

深大寺景観カード

写真にどんなものが
映っているかな？
「景観の要素」を
分解してみよう



いらっしやい！
- 花のアーチでおもてなし -

いらっしやい！
- 花のアーチでおもてなし -

みえるもの/こと
うつつているもの **対象物** アーチの橋と花の植木鉢
分解してみよう **要素** 石橋、橋の手すりのアーチ、植木鉢、同じ色・形の鉢、花（菊、ササ？）、木の塀、木、紅葉、落ち葉、電線・電柱、川、電気メーター、民家のダクト、アスファルト、晴れ

表面

みえないもの/こと
取り巻く事情 **環境** ・日当たりが良好
・花が立体的に見える
・時間・手間のかかる仕立ての鉢植えが置かれている
・橋の歩くところがアーチ状になっている（水が溜まらない）
・水（川）、水の音が聞こえる
過去とのつながり **歴史性** ・石橋が新しい。なぜ造ったのか？
・橋の竣工は昭和六十年
・人の営み、生活感がある
関わる人たち **社会性** ・橋を造った人がいる
・橋を渡る人、深大寺を訪れる人がいる
・花を置いた人がいる
・水をやっている人、花の手入れをする人がいる
・掃除をする人がいる

裏面

景観は「みえるもの」だけではない！

映っていないもの、周りの環境も考えてみよう

景観は人の手でつくられているもの

どんな人々が関わっているか考えてみよう

2月22日に開催した第5回市民検討会では、「景観の伝えかた」のレクチャーを踏まえて、実際に景観の伝えかたを考えました。景観カードをもとに各グループでテーマを設定し、テーマに沿った写真を選んで景観の特徴を話し合いました。

さらに、子どもたちがその特徴を知るための「知りかた・観察のしかた」や、景観の中で「できること」のアイデアを出し合いました。



凡例
● 景観の特徴
◆ 景観の知りかた・観察のしかた
★ 景観のなかでできること

<p>Aグループテーマ おもてなし</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● お店の前にのぼりを出して歓迎している ◆ どんなのぼりがあるか見てみよう ◆ 湯茶のサービスは誰がしているか聞いてみよう ★ 家族をおもてなしして、一緒に草団子を食べよう  <ul style="list-style-type: none"> ● 落ち葉が清掃されずに落ちている ◆ どうして落ち葉を掃かないのか考えてみよう ★ 深大寺の落ち葉や花を集めて標本を作ってみよう 	<p>Bグループテーマ 水</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 深大寺の水の源 ● 自然の水の流れを感じる ◆ 水の流れを追ってみよう ◆ 水に根が張っている植物を調べてみよう ★ 手ですくって飲んでみたくなる  <ul style="list-style-type: none"> ● 小さな流れが大きな流れになっていく ● 水はどこから流れてきてどこかへ繋がっていく ◆ 地図で水の流れを探してみよう ◆ 触って温度を確かめてみよう
<p>Cグループテーマ 地形</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 緑に囲まれた深大寺 ● 高低差が生み出す緑 ◆ 離れて地形を見てみよう ◆ 坂の途中で振り返ってみよう ◆ 建物の高さや木の高さを比べてみよう  <ul style="list-style-type: none"> ● 高台へ続く階段 ● 登る高地、下る低地 ◆ 階段を登ったり降りたりしてみよう ◆ 階段に触ってみよう ★ 深大寺のみどころを案内してみよう 	<p>Dグループテーマ 道</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 深大寺のメインストリート ● 観光客が最初に通る道 ● バス停から本堂まで一直線 ◆ 他の場所の石畳と違いがあるか見てみよう ★ 深大寺の散策コースを考えてみよう  <ul style="list-style-type: none"> ● 風や季節を感じる ● 季節ごとに違った顔を見せる道 ● 落ち葉を踏むとシャリシャリ音がする ◆ 木の実や虫を探してみよう ★ 林の中を探検してみよう